

農 技 第 1 6 3 6 号

令和 8 年 9 月 15 日

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

令和 8 年度病害虫発生予察注意報 第 2 号を発表します。

シロイチモジヨトウのフェロモントラップでの誘殺数が平年より多く推移しており、
圃場でも幼虫の発生が確認されています。圃場における発生状況に注意して、適切な防
除指導をお願いします。

令和 8 年度病害虫発生予察注意報 第 2 号
シロイチモジヨトウの発生状況と防除対策について

- | | |
|--------|--------------|
| 1 対象作物 | 野菜類、花き類、豆類 |
| 2 病害虫名 | シロイチモジヨトウ |
| 3 発生地域 | 県内全域 |
| 4 発生程度 | 多い |
| 5 発生時期 | 9 月中旬～10 月下旬 |

6 発生状況と今後の発生について

- (1) 県内 3 地点（加西市、朝来市、南あわじ市）に設置しているシロイチモジヨトウ用のフェロモントラップにおいて、8 月下旬から誘殺数が増加している（図）。特に、加西市では 8 月の合計誘殺数が平年の 2.4 倍と、過去 10 ヶ年と比較して最も多い（図）。
- (2) 9 月上旬に淡路地域で実施したねぎ圃場における調査では、幼虫および卵塊が確認されており、発生圃場率は 100%（10 圃場／10 圃場）と高い。
- (3) ねぎ、ピーマン、カーネーション栽培圃場で既に本種による被害が認められている。
- (4) 気象庁の近畿地方の 3 か月予報（8 月 25 日発表）によると、9～10 月の気温は平年より高く推移するとされている。本種の活動に好適な条件が続き、幼虫による被害が発生する恐れがある。近年、秋期にも気温が高く推移する傾向にあり、昨年のように 10 月以降も本種の発生が収まらず（図）、被害の発生が長期化することが懸念される。

7 防除上の留意点

- (1) 本種は広食性で、加害作物は、ねぎ、たまねぎ、はくさい、ピーマン等の野菜類から、カーネーション、きく、トルコギキョウ等の花き類、大豆、あずき等の豆類と広範囲におよぶ(写真1)。
- (2) 卵は鱗毛^{りん}で覆われた卵塊で産み付けられ(写真2)、孵化^ふ直後の若齢幼虫は集団で加害する(写真3)。卵塊や分散前の若齢幼虫の早期発見に努め、速やかに捕殺する。
- (3) 成虫の産卵防止対策には防虫ネット(目合4mm以下)、黄色防蛾^が灯、性フェロモン剤(交信かく乱剤)の利用が有効である。
- (4) 近年、秋冬野菜の育苗期や定植直後の被害が増加傾向にある。育苗期には粒剤や水和剤の灌注処理による予防的な防除を心がける。本圃への定植後も被害の発生に注意して観察し、幼虫の発生が認められたら速やかに薬剤散布を行う。
- (5) 中・老齢幼虫(写真4)には殺虫剤の効果が低くなるので、薬剤防除は若齢幼虫期に行う。本種は全国的に薬剤抵抗性の発達事例が多く報告されており、本県でも一部の薬剤で殺虫効果が低い事例を認めているため、薬剤散布後も防除効果の確認に努める。
- (6) 薬剤散布を行う場合は、産地や地域における薬剤の使用実態を考慮しつつ、農作物病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

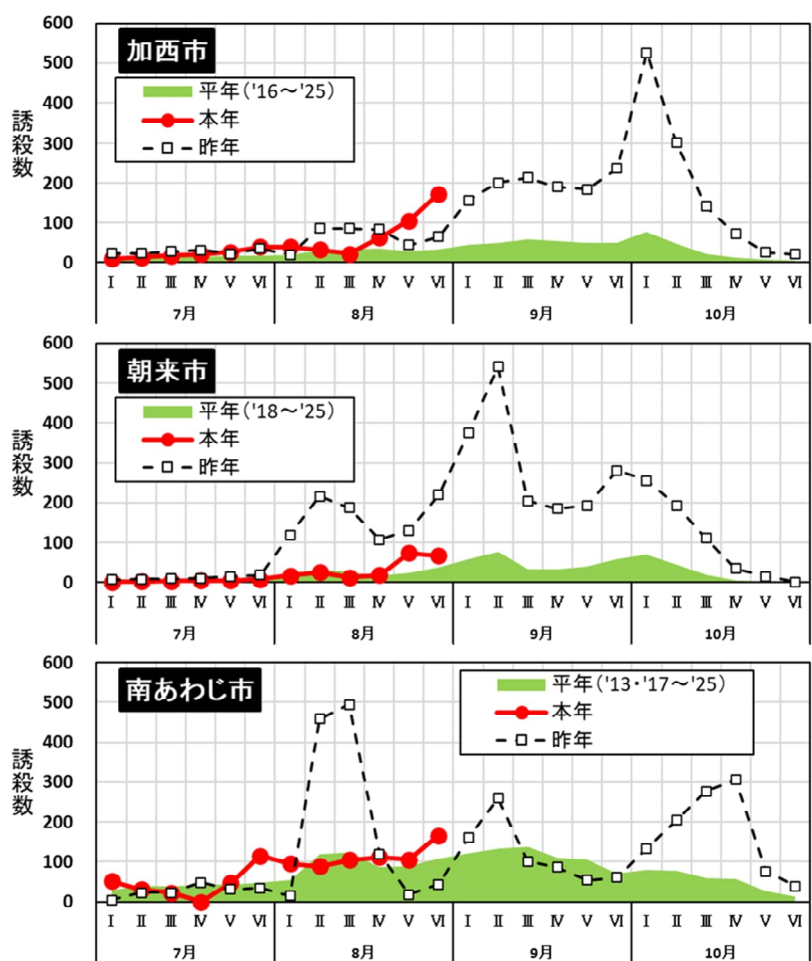


図 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウ誘殺数の推移



写真1 シロイチモジヨトウによる被害



写真2 シロイチモジヨトウの
卵塊と孵化直後の幼虫



写真3 若齢幼虫（集団で加害）



写真4 中・老齢幼虫（体色は黄緑色～黒褐色と多様）



*この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp>

*農作物病害虫・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

*兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222

「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)を開設しています。

発生予察情報など病害虫に関する情報を速やかに提供しますので、是非フォローお願いします。

Xアカウント (https://twitter.com/hyogo_boujoshou)

